言語を考える

~「台湾有事」の行き着く先~

昨年12月16日に閣議決定された安保三文書(国家安全保障戦略、 国家防衛戦略、防衛力整備計画) に基づき、沖縄を中心とする南西諸 島に「敵基地攻撃」が可能な長射程ミサイルを配備する計画が浮上し、 地元市町村、市民から「有事の際の攻撃対象になるのではないか」と の不安と懸念の声が上がっています。

安保軍事問題に詳しい布施祐仁氏の講演と川口創弁護士の現地レ ポートを通じ、敵基地攻撃能力保有を中心とする安保三文書の意義と 問題点、南西諸島への長距離ミサイル配備計画の現状を明らかにし、

「敵基地攻撃能力」保有と国民の平和的生存権の関係について考える 機会としたいです。

定 員

100名 先着順

参加費無料

 \blacksquare 時

13時30分~16時

場

愛知県弁護士会館5階 ホール (名古屋市中区三の丸1-4-2)



※地下鉄 「丸の内」駅 1番出口より 徒歩7分

※地下鉄 「市役所」駅 6番出口より 徒歩8分

※駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しください。

会員及び一般市民 参加対象

会場参加



師

祐仁 氏(ジャーナリスト)

1976年生まれ。フリージャーナリスト。 20年以上、安全保障問題を中心に取材を続

著書に『自衛隊海外派遣 隠された「戦地」の現実』 英社新書)、『日米同盟・最後のリスク なぜ米軍のミサイルが 日本に配備されるのか』(創元社)など。『日報隠蔽 南スーダ ンで自衛隊は何を見たのか』(三浦英之氏との共著、集英社)で 石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞を受賞。

(弁護士/愛知県弁護士会憲法問題委員会副委員長)

行

13:00 開場

13:30 開会あいさつ

13:40 講演・対談

「安保三文書と敵基地攻撃能力保有 は南西諸島にどのような影響を及ぼ すかし

布施 祐仁 氏(ジャーナリスト) 現地レポート 川口

(弁護士/愛知県弁護士会憲法問題委員会副委員長)

15:55 閉会あいさつ

お問い合わせ 愛知県弁護士会人権法制係

☎(052)203-4410

愛知県弁護士会

開催方法

会場および Zoom配信 右記QRコードより、お申し込みください。

